

●六本木西公園

あざぶきたひがくぼちょう 麻布北日ヶ窪町

鳥居坂の台地の裾を北より東へ折れる窪地ですが、南向きのため日当たりが良いので日南窪と呼ばれました。現在の六本木中学校付近には、円形古墳らしい道灌山という小丘があったようで、古くから住みよいところだったようです。町内には毛利甲斐守邸があり、この邸内で赤穂浪士10人が切腹しました。

かつては麻布村のうちでしたが、おいおい百姓町となり、正徳3年(1713)、日ヶ窪の北にあたることから麻布北日ヶ窪町となりました。

あざぶみなみひがくぼちょう 麻布南日ヶ窪町

鳥居坂の台地の裾を北より東へ折れる窪地ですが、南向きのため日当たりが良いので日南窪と呼ばれました。太田南畝(1749~1823・江戸時代後期の文人)は、かつてここから土人形のはいたた桶が掘り出されたため、難人形製造地として難窪と呼ばれたという説を立てています(「一話一言」)。

かつては麻布村のうちでしたが、おいおい百姓町となり、正徳3年(1713)、日ヶ窪の南にあたることから麻布南日ヶ窪町となりました。

あざぶりゅうどちょう 麻布竜土町

竜土町の旧地は、芝愛宕下(現在の愛宕・西新橋付近)から西久保(現在の虎ノ門付近)あたりです。旧地は入江の浜で、漁人が多く住んでいたのが獵人村と呼ばれていました。元和(1615~1624)のころ御用地となったので、麻布領のうちに引き移り、村名を竜土と改めたといいますが確かではありません。後に百姓町屋となり町名を麻布竜土町というようになりました。

あざぶしんりゅうどちょう 麻布新竜土町

もともとは竜土町の一部でしたが、明治11年(1878)の麻布区設置に伴い、隣地に竜土町があるので「新」の字を冠し、麻布新竜土町として分離しました。

あざぶざいもくちょう 麻布材木町

もともとは、竜土町のうちでしたが、古くより材木商が居住していたため、自然と材木町と呼ばれるようになりました。正徳3年(1713)に町奉行の支配に入り麻布竜土材木町となりました。明治5年(1872)、近隣の武家地を合併して麻布材木町となりました。

Azabu'kitahigakubo-chō

From old times this valley had been called *Hinakubo* literally meaning "the south-faced sunny valley", and it has actually enjoyed full sun. In the 3rd year of Shōtoku (1713) the northern (*kita*) part of the valley was named *Azabu'kitahigakubo-chō*.

Azabu'minamihigakubo-chō

From old times this valley had been called *Higakubo* or *Hinakubo*, both literally meaning "the south-faced sunny valley", and it has actually enjoyed full sun. In the 3rd year of Shōtoku (1713) the southern (*minami*) part of the valley was named *Azabu'minamihigakubo-chō*.

Azabu'ryūdo-chō

Ryūdo-chō covered the area from *Shiba-atagoshita* to *Nishikubo* which was the beach, facing the inlet, called *Kariudo-mura* (literally "hunters' village") because fishermen lived in the area. Later the place name became *Hyakushō-machiya*, and then *Azabu'ryūdo-chō*.

Azabu'shinryūdo-chō

The place was originally a part of *Ryūdo-chō* and later became an independent town named *Azabu'shinryūdo-chō* with the affix *shin* ("new") when *Azabu* Ward was newly introduced in the 11th year of Meiji (1878).

Azabu'zaimoku-chō

The place was originally a part of *Ryūdo-chō* and later became naturally an independent town called *Zaimoku-chō* (literally "timber town") because it had been the area timber dealers gathered in.

昭和20年代の港区地図



現代(平成18年)の港区地図

